

会 議 録

会 議 名 (付属機関名等)		第7回 キセラ川西エコまち協議会交通部会	
事務局(担当課)		キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区整備課	
開催日時		平成29年2月3日 10時30分~	
開催場所		川西市役所 4階庁議室	
出席者	委 員	松村、鳴滝(代:尾崎) 松浦、岡田、野津、中根、小川、金淵、 四方田、河合(代:森) 井上、山本、蟹井、酒本	
	事務局	北野、藤田、池永 小倉、森(コンサルタント)	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		1 開会挨拶 2 議事 ・交通分野における取組みの見直しについて 資料1 ・ヒアリング調査について 資料2 3 閉会挨拶	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審 議 経 過

1. 開会挨拶

事務局

- ・皆さん、改めましておはようございます。地区整備課の北野でございます。当部会はキセラ川西低炭素まちづくり計画の交通分野において議論をしていただくということで、平成25年に立ちあげられて、今年で4年目でございます。その中で、キセラ含めて周辺における状況調査等を進めてまいりました。
- ・最終的にはキセラの22.3haの区域の中での検討には無理があるということで、平成27年に土地区画整理事業の区域から中心市街地活性化基本計画の約80haの計画区域に改訂した経緯がございます。広げた中で、最終的には公共交通の利用促進を最終目的と致しまして、昨年度にはガイドラインを一旦、制定させていただいて自転車による移動の促進と駐車場の共用利用を検討していただくということで終わっております。
- ・自転車による利用促進につきまして、昨年度までの部会では今年度、具体的な施策について検討し、来年度実施していただくという流れで進んでおりましたが、市の都合によって社会実験をしづらく見送るという形になっております。非常に申し訳ないですが、一旦仕切り直す形になってしまいました。この計画自体は10年後の計画で平成34年度までですので、真ん中ぐらまではきていますが、できることを今後具体化していく必要があると考えておりますので、皆さまには忌憚のない意見をいただきまして、進めていきたいと考えておりますので、皆さまどうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

2. 議事

交通分野における取組みの見直しについて

部会長

- ・それでは、議事に移りたいと思います。
- ・先ほどご挨拶にもありましたように来年度、いよいよ社会実験かというふうに考えていましたが、なかなか厳しい状況にあるということですが、何かしらのことを残していかないと交通部会の意義がなくなってしまいますので、ぜひ皆さまには何ができるのかというような観点でご意見頂戴できればありがたいと思います。
- ・それでは議事に入りまして、「交通分野における取組みの見直しについて」ということと、「ヒアリング調査について」ということで事務局から説明をお願いします。

事務局

- ・資料説明（資料1）

部会長

- ・ありがとうございました。それでは、ただ今のご説明に対してご質問等ございましたらお願いします。

委員

- ・資料1の3ページですが、左下の「自転車シェアリングのイメージ」のところですけど、4点目の「レンタサイクルを実施している阪急バス」さんの名前が出ていますが、これは「阪急電鉄」の間違いだと思います。

事務局

- ・失礼いたしました。修正させていただきます。

部会長

- ・他、いかがでしょうか。
- ・3ページの「(2) 駐車場の共用利用」の件ですが、そろそろいろいろな施設ができ始めていますよね。そのあたりの情報なり、何なりという、共用利用はタイミングがすべてだと思うんですけど、そのあたりはどのような手順で進めていくのかという詳細については検討はされていますか。

事務局

- ・現段階では、立地されている企業さんを先にこういったことが実際に取り組めるのか、もしこういったことをするのであればどういったインフラ整備だったり管理体制だったりという問題があるのかというのは少し...まだそこまでは把握できていませんので、現段階ではそこを急いでヒアリングの中でも把握させていただきたいと思っております。
- ・今後については、実際に立地に向けて動かれているところもございますので、そういったところに向けて、こういったことだったらできるかどうかというのを併せて聞いていきたいと思っております。

部会長

- ・ヒアリングもあるかと思いますが、説得材料いりますよね。具体的な数値なり何なりですね。病院にしても何にしても、そのあたりの数値がおおよそ見えていると思いますし、類似事例を考えれば駐車需要のピークであったり、そういうこともたぶん出てくると思うので、ただ単にヒアリングにいくだけではなくて、説得するような形での資料作りというのも必要なと。「これできますよね」という話になってもその主体に対してメリットがないとおそらく厳しいですね。
- ・例えば、病院に来る人のピークはどう考えても朝ですから、そうなるとその時に近くのスーパーの駐車場を使わせてもらえると、おそらくその人はそのスーパーで買いますよね。というようなことがあるとおそらくできるでしょうし、いろんな説得材料というのはあるとは思んですけど、その資料作りをやっていかないと、タイミングを逸してしまうと、これはなかなか難しい

ですよね。そのあたりの数値の詰めと説得材料としてのパンフレットなり何なり情報というのを作りあげて行って欲しいと思います。これが一番やりやすいですよね。挙げていただいた事例の中でいうと、関係者が限定されますし、話も見えやすいですし、という意味合いでは一番実現度が高いのかなと思いますので、そこは確実にとっていきましょうということをお願いします。

事務局

- ・アドバイスありがとうございます。取り急ぎは、ヒアリングという形でこういった問題があるのかというのを整理させていただいて、実際にこういった具体的なイメージを持って、それを整理した上で活かしていただければなと思っております。もちろん、その際には周辺にこういった施設が、こういった規模のものが検討されているよといったことから、先生のご指摘のようにピークはこのぐらいになりそうだというのを事例ベースで数値を集めて、この時間帯は使えるんじゃないとか具体的な詰めは次のステップでもさせていただければなと思っております。
- ・次の交通部会までには各社さんがこういったことを取り組まれているか、他にも拡張できるようなものがあるのかどうかということ視点を少し一度ヒアリングさせていただいて、必要に応じてですが、駐車場利用のところについても改めて訪問させていただいて補足させていただくといったことを考えております。

委員

- ・今回初めて参加させていただいたので、今までの検討の経緯が全然わからない上で、今の駐車場のことについて意見です。駐車場共用利用というのは、実は10年近く前になりますかね。FM放送を使った駐車場利用の案内の検討を1回されているんですよ。それについての状況がどうかというのを把握されているのかなというのと、それがなぜできなかったかという、国の補助金がつかなかったということにおいてできなかったという過去の経緯があります。
- ・駐車場についてですが、川西の駐車場さん、我々がその時に集計した時、2,000台近くありました。10年前ですが。現在でも今の台数を見ても同じ程度だと思えます。ただ、駐車場自体が細かいので、小さくていろいろ利用形態が変わっていく。駐車場でなかったところが新しく駐車場になる。また、駐車場のところが不要になるというような状況になっていると思います。その辺について、どういうふうにとめられるのかなと。こういう利用をする時にどういうまとめ方をされるのかなという利用促進の方針をどうされるのかというのが見えていない。その辺が気になりました。

部会長

- ・そのあたり、どうでしょうか。

事務局

- ・私の説明が不足しておったかなと思うのですが、共用利用の今のイメージがキセラ川西のエリア

の中での施設に対して、いくつか共用できないかなと。そういった区域のお話と、駐車場案内の話はもう少し広域の話になってくるかなといったところで、規模やエリアというのが2つ混在したものを同じ説明をしてしまったので、私の説明が悪かったかなと思います。

- ・共用化は基本的にこのエリアの中での施設配置を見ながら、どこどこが一緒に共用できるかなというところは探っていきたいと思っております。また、FMを使った駐車場案内ですが、10年前の状況なので詳細に把握しておりませんでしたので、これから勉強させていただきますが、こういったところも社会実験の中で取り組んでいければ、何かしらの補助金も使いながらできていくんじゃないかなと思いますので、前回のそういった知見も踏まえて検討させていただければと思っております。

部会長

- ・エリアというのがキセラという意味合いですね。実は2年前に中活のエリアも含めた地域で駐車場の空きの数であったりというのをカウントして、そこでフリンジの駐車場を設けて、そこから自転車や何なりでアクセスできるようなことも検討はしてみたんですけど、駅前の駐車場はかなり利用されている。ほとんど満車状態であるということもありまして、先ほどおっしゃっていただいたように一つ一つの駐車場の規模が小さいのが非常に多いこともあって、中活エリアのフリンジの駐車場を上手く活用していくことというのがちょっと難しいねという話になりまして、中活のエリア全体の共同利用というのは難しい。せめて、キセラの内部の駐車場ぐらいはしっかり共同利用の形をしていかないといけない。本当はエリアを広げて上手くできたらいいなどは今でも考えているんですけど、そこは来年、再来年ぐらいのところに入っていないということです。本当はやっていった方がいいと僕も思っています。
- ・他、いかがでしょうか。

委員

- ・駐車場相互利用の話に関連するかと思うんですけど、資料1の6ページに「交通部会で予定している主な議題」があって、過去の整理と平成29年度、来年度には中活に関して社会実験ということしか書いていない。まさしく社会実験については市の事情でという冒頭の説明もあったように、これについては社会実験をする位置づけの整理はここに書いてある通りで、それは市内部の予算取りをするための新たな考え方を整理しましょうねという取り組みはできると思います。これだけではなくて、今の議題になっている駐車場の相互利用についてどのような問題があって、それをどう整理していくのか、どうすれば実現するのかということここはしっかり議論していくべきことだと思っているし、その方向性もここで見ていきたいということも思っているの、項目に必ず挙げておいていただかないと誤解が生じるのかなというのが一点あります。
- ・先生のご指摘のようにどのような問題があるのかを探るということはもちろんそうなんですけど、どのような問題がありそうだなということぐらいはこの部会で当然出して行って、ちょっと考えればわかることもたくさんあります。そこを踏まえて、こんな問題がありそうだなという仮

説を立てていただいて、その上でヒアリングやアンケートの項目をブラッシュアップしていただきたいと思います。

- ・その流れで、交通分野の取り組み方針。これの一番最後のページに施策（案）と実施スケジュールとあります。検討した当初は3年ほど前なんです。短期、長期という言い方で、概ね5年から10年という書き方で整備されているんですけど、年月が経つのは早いもので、低炭素まちづくり計画そのものが平成34年度までなんです。今後、5年間の計画です。その間でできることを整理する意味で、ここは改めてブラッシュアップしていただいて、やろうとしていることとここに書いてあることがかい離している。その整理もぜひお願いしたいです。
- ・改めてこれを見ると、ちょっと抜けているんじゃないかなと思うのが、施策案を大きく3つに分けていますよね。「徒歩・自転車」と「駐車場の共用利用」と「公共交通」。実は一番上の自転車というのが、社会実験ということで課題にも挙がっているんですけど、中心市街地活性化区域内の回遊性の向上の内のひとつの方法が徒歩・自転車であって、もうひとつの方法というのはバスの運行という要素が実はあった。それがいつの間にかなくなっているんですけど、実はキコーナさんがバスをぐるぐる回しておられる状況があって、そういう存在もありますので、この部会では取り扱いを議論するのか、そこを支えていくのか、あるいは阪急バスさんがおられますからそこは阪急バスのテリトリーだとおっしゃるのか、その辺はそういう実態を踏まえてこの部会としての意識と言いますか、位置づけと言いますか、回遊性の視点から何か議論を遡上にあげていく必要がないのかなと思っています。
- ・トータル的に何が言いたいかというと、29年でやることについては6ページに書いてあることだけではなくて、その辺は並行して議論することがもう少しあります。アンケート、ヒアリングについてはその辺、ある程度想定される問題を整理したうえで少しブラッシュアップしてやっていきたいよねということでございます。以上です。

部会長

- ・ありがとうございます。確かにこのパンフレットを作った時点とそれから新たに考えないといけない部分が出てくると思いますので、そこを議題に挙げたほうがいいなとは思いますが。特に回遊性のあるバスのお話ですね。このパンフレットを作った時には新たに出費をして回遊性のあるようなバスというのは、これは無駄だからやめておこうというような話で削ったような経緯があったと思います。現実走っているじゃないかというようなものをどう扱っていくのかというのは少し共有しておいたほうがよいかもしいかな。
- ・阪急バスはバス停の位置は変えられるんですか。

委員

- ・今のところ何も検討はしておりません。

部会長

- ・病院とかが建ってくるとどうですかね。

委員

- ・今、あるバス停はちょうどキセラの南端ぐらいになるんですかね。あと、市役所の前を通っているのが本数が少ないので、ここはもうちょっと増やすという計画がございませんので、どうしても病院の前と文化会館の前の停留所をご利用いただくのかなというイメージはしています。

部会長

- ・具体的に建ってきたらちょっとでも近い方がいいかなと思うような場合もあるかもしれませんので、ぜひいろいろ可能性も含めて。

委員

- ・そうですね。
- ・それと遊戯施設が運行されているバスと今回の話と、その辺はいろいろまたご相談をさせていただきたいと思います。今はたぶん施設の方だけですから、それを広くこの取り組みの回遊性のためにという話になると、不特定多数の方が乗られるということですので、そこはまたご相談させていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

部会長

- ・今この場でというわけには難しいでしょうから、ヒアリングのところをお願いします。
- ・他、いかがでしょうか。

委員

- ・交通事業者として、資料2-1のヒアリング調査で低炭素まちづくりに向けたというアンケートにつながると思うのですが、低炭素まちづくりに向けた地域貢献活動等と記載しているということは、低炭素につながることが前提でという理解でこのアンケートを考えていけばよろしいのでしょうか。冠があって考えると思いつくものがないのかなとか、ちょっと理解力がなくてすみません。教えていただければ。

事務局

- ・改めてまた資料2-1、2-2、2-3は次の説明でさせていただければと思いますが、そういった低炭素まちづくりという冠をつけてございますが、これに限定されるものではなくて、もう少し広く浅く、我々の方では何が取り組めるのか、もしくは低炭素につながらないまでも市の方として何かお手伝いができることがあるとか、そういったことも含めて把握していきたい段階でございます。次の説明の中で補足させていただきます。

部会長

- ・ありがとうございます。司会の不手際ですみませんでした。
- ・他、いかがでしょうか。

委員

- ・今回の会議自体は今年度の最後のヒアリング調査とか今年度の事業のまとめをされているんですか。それとも来年度に取り組む事業内容について意見を述べさせていただいたらいいという状況なのでしょうか。

部会長

- ・両方ですね。

委員

- ・自転車とか自動車という状況が入っていると思うんですけど、先ほどおっしゃっていただいたんですが、中心市街地活性化協議会がやっている中心市街地活性化協議会は基本計画の中に実は、交通計画というものが今回入っていないですね。前はバスであったり具体的な計画が入っていたんですけど、その分が抜けていったという話があるのと、あとは実際には土木関係の計画というのは、例えばキセラとか入っているので入っているんですけども、実際に交通計画はどうしていくのかというのが検討が全然なされていないというふうには受け取っている。中心市街地における交通計画を作らないと、具体的な実際の自動車利用であったり、徒歩も含めて自転車利用であったりとか出てこないんじゃないかなという気はしてたんですが、その辺はいかがでしょうか。

部会長

- ・その辺はどうでしょうか。本来は中活の中で作ってほしいところなんですけどね。それは川西の全体の総合計画が一番上流だとした時にずっと流れてきたところで、そこのエリアで中心市街地活性化計画というの一番上位というか、地区においては上にある計画だと僕は認識していますので、そういう意味ではそこで交通計画というふうなものが作っていただいている、それを踏まえてこの交通部会何ができるかなというところが議論できるというかなとは思ってはいたんですね。

委員

- ・例えば、自転車利用を促進するといっても自転車の利用に対する交通計画はないと言ったら語弊があると思うんですけど、きちっと出てきていないということと、バスさんにしたって将来の事業計画でこういう状況になるからバス停の移動が必要かという話も全然ないですよね。同じように自動車についても自動車の交通計画として、どこに駐車場がどういうふうに必要なかということ

もないという状況で中心市街地が進んでいる。そういうふうなことについては、これから検討するということはないと思うんですけど、キセラさんが中心となってまとめられていく方向であるのかなと思っているのですが。

部会長

- ・ そのあたりは僕の認識ではないですね。本当は川西全体の交通戦略であったりとか、川西市は公共交通基本計画を作られて、その中で公共交通についての考え方というのはまとめられていて、特に北の地域の地区内の交通についてはというふうな戦略なんかはたてられながら進められようとしている状況。ただ、その平地のところについては公共交通というのは、バスという面では非常に本数が少ないというところもあって、そこについては今のところ具体的なプランがない。
- ・ おっしゃるように僕も認識しているのは、自転車に関するような計画はないと思っているんですけど、あるんですかね。ないですよ。おそらく、僕も早く作ってくれという話はやっていたんですけど、それは観光も含めて、もう少し自転車の広域的な利用も含めて議論した方がいいんじゃないかと。せっかく川があるんだしという話になっていたんですけど、なかなかしんどいこともあって進んでいないということは聞いてはいます。
- ・ 本来、中心市街地の活性化を考えた時に、交通というものをどうやって集めてくるのかという観点があると思いますので、そういう意味では含めてほしかったなというのは一部会長としての感想です。とはいえ、そこに対する具体的な予算取りというのはしんどいだろうなと思うので、そこについては関係部署ということなのかなというふうには思っていますけど。そのひとつとしてというのはあると。
- ・ 今から言おうと思っていたんですけど、情報の共有化ですかね。おそらく中活なんかでも具体的に検討されているとは思いますが、個展の魅力の情報をいかに市民の方々、市外の方々に発信するのかなとか、そういうこともたぶん考えられているでしょうし、今でもいろんなイベントされていると思うんですね。そのイベントの情報をおそらく発信はされているとは思いますが、一元化の話というのはどうなっているのかなとか。おそらく、その中にキセラも公園がたちあがっていった時にいろんな公園のこんな花が咲いていますよとか、こういうことをやっていますよとか、スーパーができればスーパーの売り出しがどうのこうのとか、病院ができればロビーではこういう団体が絵画展やっていますよとか、いろんな情報がこのエリアであふれてくると思うんです。その情報を一元化して提供しないと人は来ないですよ、どう考えても。そこもおそらく交通部会の役割だと思いませんか。自転車がどうするとか、バスがどうするとか、歩行者どうするということだけしかこの交通部会で扱わないのであれば、僕らは手足をもがれたような状態なので、交通というのはあくまでも派生需要なので、何かしたいと思う人が来る、何かしたいと思うようなことをいかに活性化させていくのかというのが、やはり最初は情報ですね。その情報をどういうふうに関連をとっていきのかというのは、本当は議論しないといけませんが、まだキセラが立ち上がっていないので、キセラの中だけでやっていた時にはちょっとまだ早

いなと思って僕も言い控えていたんですけど、もうそろそろいろんなものが見えてきた段階においては中心市街地活性化の方で落とされていると思われる情報の発信と上手くのっけていける
といかなと考えてはいました。そういう意味では、それも交通かと言われるかもしれませんが、
連携していきながらできればなと思います。

- ・中活の状況というのは承知してないですけど、計画の遂行というのはあるのですか。

委員

- ・キセラの地区整備といったところで考えているエコまちですね。整備というのが中心で低炭素化
ということを中心とした中心市街地の活性化の新しい狙い目ということになっていますので、
我々が協議会としてやっているのは新しいまちづくりのところと、旧駅前周辺といかにして活性
化をもって一緒につなげていくか、回遊性をもっていくかという状況ですので、その中には徒歩
もありますけど、自転車であったり、公共交通の利用というのが重要になってきますので、その
辺が交通としてどういうつなぎ方をするのかというのが気になるところでありますし、どっちか
という今までの中活計画の中ではそこまでの公共交通の検討はされていないので、せっかくの
まちづくりですので、キセラさんがやられるのであれば、そこで提案が出てくるのかなというふ
うに思って、今ご質問したんです。

委員

- ・貴重なご意見ですけど、説明は全く逆なんです。松村先生のおっしゃったことの補足になると
思うんですけど、元々キセラが開発しますよと言った時に、猛反対されたひとつに能勢口が疲弊
するからだというようなところから始まっていて、その時から回遊性と言ってきているんです
ね。今のご発言の中にも回遊性というのがあって、おそらくキーワードは回遊性なんだろうなと
思うんです。それを実現していきましょうと事業主の立場からもありましたし、その後で低炭素
まちづくり計画に交通分野があって、歩いてあるいは自転車でというような要素が付加された
と思っています。
- ・キセラの中だけでは当然解決しないので、冒頭の北野課長の説明もあったように交通分野だけエ
コまち計画の範囲を中活に広げ、それで回遊性を模索していきましょう。具体的には歩いて、そ
して自転車ということでここで議論してきた。中心市街地活性化計画の期限がきた。やめたら
という議論も冗談みたいな話であったんですけど、「いやいや、やるんだよ」ということで、具
体的な施策というのはなかなかやろうとするんだけど難しいよねという中で、キセラのやろうと
している社会実験というのが非常にいいことだろうし、必要性もあるからそれを今度は中活の部
署の方で予算要求をしてやっていきましょうねということまでは動いたんです。ところが、残
念ながら予算が通らなかったということがあって、私は中活で計画を作れとか、今さら作れとか
そんなことは思っていませんけど、中活として社会実験をやるのであれば、ちょっと目的が変
わりますよということも議論しています。その議論も終わっていると思っていて、中活がやると
したら公共交通利用促進とか低炭素ではなくて、あくまでも活性化になりますよということも聞

いていて、それでも構いませんと。それは自由にやらせてもらって、やらせてもらった結果を交通部会が見て、どう評価というか、やった結果をもってどうフィードバックされるのかを逆に考えましょう、ということまで実は話されている。その辺のことが説明不足だったと思うんですけど、中活としての社会実験として中活がメリットがあるようにやっていただいて、それを交通部会で一緒に考えていきますよ。もともと言いたしっぺはキセラなので逃げるつもりもないですし、一緒にやっていくというような構造になっているという、そこは一応推されているということは前提において考えていただいてもいいんじゃないかなと思います。

部会長

- ・僕の立場としては、本当はキセラの看板で事業がとれたらよかったなと思っています。キセラで上手くやっていくような取り組みというのを中活の方でも評価してもらおうという形になったら一番いいなと思っていたんですけど、なかなかそれが動かなかったという...、それは僕の力不足もありますけど。
- ・従来の正攻法である中心市街地活性化の中で人を集めていくというのは、方策としては恒常的な政策としてはあるのかなと思っています。いずれにしても、人が来てほしいということは間違いないので、キセラであろうと、中心市街地であろうと、そこをどうやって人を集めるのかといったところの大きなところの資料1の1番の話であったりとかというのがちょっとしぼんじった。せめて「2」はしましようというのが一番最初の発言です。本当はもうちょっと先の話ができたかなということのを来年度以降で詰めていくということなんだろうなと思います。

委員

- ・私どもとしては中心市街地の活性化ということがおっしゃっていただいた内容はそのままです。中心市街地という中において、中心市街地の北地区、このキセラ地区というのが占める位置づけというのは非常に大きい。これから施設開発と大きなことになっていますので、その開発も含めた全体としての内容であったり、人の動きであったりということが非常に活性化につながってくる。これから中心市街地とキセラ地区ができるからこそ活性化がより促進される状況がとっておりますので、ぜひ上手く連動した人の動きができるような内容にもっていただきたいなと思っております。検討よろしくをお願いします。

部会長

- ・そこはたぶん共通認識だと思います。
- ・他、いかがでしょうか。
- ・本当はもう少し広域的なところから人が来てくれるといいですけどね。なかなかそこまで魅力があるかどうかというのはありますけど。そうなった時におそらくJRさんだったり阪急電鉄さんであったりというのが力を発揮してくるなと思いますけど。
- ・話は変わりますが、川西の北の方のニュータウンの方々に情報提供をした時に何が効くかとい

うと、もちろん市内でこんなイベントをやっていますという情報を提供したりとか、このお店、ケーキ屋おいしいですよとかというような情報を直接携帯に送ってあげることによってその人たちが出てくるというふうな。それで能勢電鉄を利用して出てくるということで上手いこといきましたという話をさせてもらったんですけど。その時に一番効いたのは、ちょうど秋だったんですけど、正倉院展なんですね。正倉院展やっていますとすると、能勢電使って、阪急使って、JR使って行くんですね。ああいうふうなインパクトのあるようなものというのいかに情報を提供していくことによって人を家から出してくるかというのは、これは川西だけではないですけども、そのインセンティブという言い方は良くないですが、情報提供をいかに効率的にやっていくのか。必要となっている人に届けていくのかというのも非常に効果的だなと思いますので、中心市街地活性化も含めて議論いただければなと思います。

- ・どうしても交通の話というのは、建った後なんですよ。建った後にこの人の移動をどうするのとか、自転車混雑しているけどどうするのとか、車混雑したらどうするのと、後手後手の話になるので、もう少し先に手を打ちたいというのがこの交通部会ができた意味だと思います。未だに有効な手が打てていないという現実で、このまま終わると僕は加藤会長の前で切腹しないかん。ぜひ、キセラがたちあがった時には交通部会としてこれをしましたというところは残していきたいなと思います。
- ・とりあえず議事を進めさせていただきますけど、時間がありましたら資料1についてもご意見頂戴したいと思います。
- ・資料2をお願いします。

2. 議事

ヒアリング調査について

事務局

- ・資料説明（資料2）

部会長

- ・ありがとうございます。いかがでしょうか。

委員

- ・資料2-3のアンケート、ヒアリングをする対象として資料2-1の右側の7、8番に巻き込んだというご説明だったと思うんですが、7番、川西商工会に聞くというのは、商工会が回遊性についてどう参画するかしないかということを知ろうとしているのか、それに間違いはないですか。

事務局

- ・説明が抜けておりました。そうですね。商工会としての取り組みというところもまずひとつある

と思います。そういった視点でまずご意見いただきたいということと、商工会の会長さんとか実際に携わっている事業についてどうかということもお伺いできたらなと思っています。2つの側面でお伺いしたいと思っております。

- ・先行してJTBコミュニケーションさんの方にも少しお話をプレという形で聞かせていただきました。その時にはPFI事業の参加企業という立場でご回答いただいた側面もございました。そういった側面もあるのですが、事業者としてこういったところで活動する上でこういったことをできるよということも実は聞きたいと思っておりますので、そういったところは固定するつもりはございませんので、広くいろんな意見をこういった立場でこういったことができそうかというところを聞いていきたいなと思っております。

委員

- ・商工会さんとか8番の能勢口振興開発さんとか一応聞いてもらって、実際に自分たちが答える立場かどうかというのはその場で聞いてもらって確認をお願いします。

委員

- ・この2つだけしかしないのでしょうか。他にということはあるのでしょうか。

事務局

- ・もちろん、他もこういったところはぜひというところがありましたら、ご紹介いただけると非常にありがたいと思っております。

委員

- ・7番、8番をここで挙げているのは、おそらく初めてキセラの外にアプローチしていくので、誰に何を聞いていいか、実際わからない。今みたいなご意見は、むしろそういう形で聞いたらもっとこういうふう聞いた方がいいよとか、商工会を通じて具体的にもっと紹介してもらったらいんじゃないかとか、そういうアドバイスをいただけるほうがむしろありがたいです。何も実はわからないまま中活ということを意識しないといけないというのがあるので、とりあえずこういうところに聞けばいいんじゃないかみたいなそんな事例です。そういうことに対して、実際に携わっておられる方々からみればという意見をいただかないと、ちょっと進みにくいなと思っています。

委員

- ・会長さん、副会長さんの団体ですので、別にこれを否定しているわけではなくて、組織としてやっている場合、商工会さんは駅前だけではないのでいろんな問題もあるでしょうから、あと回遊性の問題もあるでしょうから、能勢口振興開発さんも一定の地域だけですので、メインのところにある事業者ではありませんので、メインとなっている能勢口の駅前の、どちらかと言うと西口

の周辺、例えばアステさんであったり、阪急さんであったり、あとモザイクですか、というのは事業者さんではないので、もう少し広げられたほうがいいかなと思いました。

部会長

- ・ぜひ、アドバイスをしてあげてください。

委員

- ・具体的な大規模事業者さんの名前が出てきたんですが、こういうアンケートをするならこういうところにも聞いておいた方がいいんじゃないかというリストみたいなものはいただけますか。

委員

- ・生活活性室で見繕ってみます。

委員

- ・お願いします。わかりやすく言えば、よその者が勝手に手を出して何をやっているかと怒られるとまずいなということだけなんですよね。ぜひ、その辺はお願いします。

部会長

- ・このアンケートの意図ですよね。それはどうですか。何のためにこのアンケートをやるのか。

事務局

- ・元々は、先生等々ご指摘いただいているように社会実験に向けて、こういった具体的内容を詰めていってできる、できないという判断の段階ということで昨年度までは考えておったのですが、そこは若干、位置づけも見直しをするといったこともありましたので、現段階もう少し広くどういったことができそうかというのを模索していくといった中で、いろんな皆さんの取り組みをまず把握させていただいて、それを集約した上でこういったことを連携したらできるよとか、行政さんの方でこういった支援をしたらさらにできるのかなといったようなところをまず何も情報がない状況ですので、具体案をつくる上でもそういった基礎情報として教えていただければなと思っております。実際にそれを受けて、今年の次の会議でこういった意見があって、こういった課題がありそうかというところまで整理させていただいて、次のステップとしてさらに踏み込んで、具体の案を作った上でこれができる、できないとか、こういった改善が必要だというのはそれに関係する事業者さんに直接また改めてヒアリング、打ち合わせ等進めていければなと考えております。

部会長

- ・来年度の実施計画というか、どんな活動ができるのかという情報にしたいですか。

事務局

- ・そうですね。少し遅れましたけど、先ほどの資料1のスケジュールでも来年度の中で中心市街地活性化における交通社会実験の位置づけの整理ということで、そちらの方から交通部会にインプットするような形で矢印が入っております。ただ、中活の方からのインプットというわけではなくて、こういったヒアリングで得られた情報というのは中活さんの方にももちろん共有されていきますので、そちらの方での基礎資料にもなっていくかなということもあって、交通だけにとらわれずに今の段階ではいろんなことを少し聞いて、企業さんがどういったことを考えておられるのかというのは、まず我々事務局の中でも整理はさせていただきたいと思っております。

委員

- ・実際のところ、協議会として各々の事業者さんにお話を伺ったことがないです。もし、これをされるのであれば一緒に行きたいです。

事務局

- ・ぜひ。

委員

- ・ありがとうございます。もちろん協議会にはほぼ参加していただいていますので、担当者の方はご存知なんですけど、こういう違うところの部署で、スタートの考え方のところの政策は聞いたことがありませんので、一緒に行かせていただければありがたいというのがひとつあります。
- ・駅周辺の事業者さんについても、事業者さんのおおまかな話は知っているんですけど、担当者と直接そういう細かいことについて話したことがございませんので、ぜひともお願いしたいのは、玉野さんで結構ですが、今までの状況なり何なりを私どもと打ち合わせをして教えていただきたい。我々が進めることについてもこういう状況でこういうことをやっていますよとお教えしますので、意見交換させていただけたらありがたいなと思っております。

部会長

- ・他、いかがでしょうか。地域貢献活動に限らなくてもいいと思います。ガンガン儲けてもらうのが地域貢献活動なので。そういうようなことも含めて、議論していただいたほうがいいと思います。

委員

- ・病院はいれないんですか。自転車はさすがに使わないかなとは思いますが、シャトルバスが病院にあればいいと思います。キセラで美化活動とか、そういうものってリハビリでも使えたりというのもあります。病院さんの意見を入れた方がいいかなと思います。

部会長

- ・ありがとうございます。そのあたりどうですか。

委員

- ・川西市さんと協議させていただいて、企業さんもどこまでの企業さんなら今ヒアリングしてもいいですよという中で、今のところは病院さんはもう少し待ってくださいということにしています。企業さんの地区への進出の度合いと言いますか、準備状況を確認しながら進めていきたいと思っております。

部会長

- ・ぜひ病院にもいいタイミングで聞いてください。

委員

- ・はい。公募に応募された資料はいただいておりますので、その際にも駐車場に関しては、特に休日に関しては開放をとということも得られていましたので、そういったことを我々もできれば早く活かしていただきたいなと思っております。今回の段階では、病院さんの方は想定していません。

部会長

- ・通院というのは非常に強力なトリップ目的なので、その方々をどう動かしていくのかというのは大きなことである。
- ・他、いかがでしょうか。
- ・次回までにヒアリングいっていただいて、内容をまとめていただいて次回に開催されるということになるかと思えます。次回、来年度以降どういう形で進めていくのかということについて、具体的に議論していきたいと思えます。
- ・それでは、司会を事務局にお返ししたいと思います。

3. 閉会

事務局

- ・皆さま、本日はご議論いただきまして、ありがとうございました。
- ・事務局から二点、ご連絡いたします。一点目、次回の交通部会は3月15日(水)の午前10時30分から庁議室で行います。日が近づきましたら改めてご案内させていただきます。
- ・二点目です。本日、お車でお越しの方は駐車券を用意しておりますので、閉会后、私のところまでお越しください。
- ・以上をもちまして、本日は閉会いたします。皆さま、本日はどうもありがとうございました。

以上